

連帯トラック支部 MK運輸でおこっていること

# 各団体が連帯の強化を声明

執行部 陣内恒治



### 【闘争経過】

分会は2013年7月に結成。長時間労働の是正や違法行為の撲滅などを要求してきたが、会社は、団交に応じないばかりか、暴力団を使つての脅迫や脱退強要を行ってきた。

### 分会長、襲撃される!!

そして2016年11月30日、樋渡分会長が会社の車庫に戻った時、突然襲撃され、樋渡分会長は肋骨骨折、全身打撲の重傷を負い、現在も顔面麻痺が残る状態である。この「殺人未遂」ともいえる事件に、分会員全員が翌日からストライキに突入した。

その後、連帯労組が制作したトラック労働者の実態を描いた「ぶ



つうの仕事がしたい」が上映された。映画の主人公である皆倉さんが、横浜から駆けつけ、月550時間の強制労働の実態を報告した。

続いて、大阪教育合同労働組合の大椿裕子執行委員長が「安倍政権が打ち出す労働法制の中身とは」と題して講演。さらに、連帯トラック支部広瀬英司委員長が、MK運輸闘争の経過を説明した。

会社は事件を放置したまま、団体交渉にも応じようとしていない。犯人もいまだに不明のままである。

集会は、早期解決めざして連帯した取り組みを強化する共同声明を採択した。

連帯労組と共闘し、襲撃犯人逮捕、団交開催、そして勝利を勝ち取るまで、闘おう!

「第1回奈良からつながる市民の集い、MK運輸分会でいま、おこっていること」と称する集会が、NPO法人・市民ひろばなら小草の主催にて10月8日、奈良県人権センターにて開催された。

きっかけは、奈良駅前で連帯労組の争議アピールを聞いた市民らが、「地域共闘で連帯トラック支部MK運輸分会の支援をしたい」と企画したもの。従って、労組主体の集会ではなく、人権運動や平和運動、教育運動などに取り組んでいる奈良の市民団体から約80名が参加した。

集会では、連帯・樋渡分会長が「MK運輸分会はスト突入312日目、分会の団結力はいっそう強くなり、勝利するまで闘う」と決意を表明した。



大阪港湾労働者組合関西地区大阪支部  
発行責任者 大坂市港湾区築港1-12-27  
全日本港務労働組合



## 第41回支部定期大会に参加して

副執行委員長 國分仁昭

10月7日(土)、大阪港湾労働者第1福祉センターにおいて、第41回大阪支部定期大会を開催しました。執行部、代議員、傍聴及び来賓13名を含め、総勢102名の参加の下、向こう1年間の方針を確立しました。

安倍自公政権は改憲勢力や大企業優遇の労働法制の改悪など、国民の意思を無視し、日本を亡国への道に進めています。このような状況の中で労働組合が重要な役割を果たさなければならないし、よりいっそうの活躍が求められています。

### そもそも大会とは?

大会というものはどういうものなのでしょうか。

昨年度の方針を総括し、1年間の執行部の活動に対する評価や苦言の言える場所なのです。だから、執行部には議決権はありません。大会は代議員が主人公なのです。大会中、議長は最高責任者であり、執行委員長であろうと議長の方が立場は上です。1年間の総括をし、方針が確立すれば、向こう1年間選挙で選ばれた執行権をもった執行委員が運営を行っていきます。基本的には執行部が分会代表委員会で支部の方針を議論し、まとめた内容や指導する事項について調和し対応しなければなり

ません。ただその指導のあり方が主観的であってはなりません。大阪支部は大衆指導体制をとっています。軽微案件も含め、執行委員会で報告・相談の下、極力情報を共有し方向性を統一できるように努力しています。また、重要な局面になったときには、決断の時期とタイミングが重要になってきます。それを判断するのが執行権を持った執行委員会であり、最高議決権があるのが執行委員長です。その運営方法に異論のある人は、分会代表委員会や最高議決機関である大会に発言、提案して大衆の判断にゆだねます。

組織運営にあたっては(執行委員に)権限を与えなければなりません。これは組織の目的を達成するものであって、上から目線の指導は良くないと思います。それは権力であって、労働組合にはなじみません。

### 団結するために

団結する過程において、方針に対する意見の相違が生まれ、行動面で足並みが揃わないなど多くの問題があり、そのため運動が停滞したり、十分な成果があげられないなど多くの困難がともないます。それには可能な限り共同行動の可能性を追求し、意思統一をはかる努力が必要

です。また、人それぞれ意見の相違や自分と反対の意見を持つことはあたりまえのことです。そこで敵対的感情を持つのでなく、また、相互批判を否定するのではなく話し合いによって乗り越えなければなりません。本人に自己批判の場を与えることも重要なことです。

### 一人ひとりの声を...

全港湾の先輩方はこれらのことを不断の努力として組織の強化拡大に努めてきました。このように基本的スタンスに立った上で権利を主張する前に義務を果たさなければいけません。大阪支部の長所と短所について全組合員が真摯な討論を行って、正しい観点で労働運動を強化の作風を作り、団結強化するために、個々が組織内で何ができるのか?それらを確認する場所のひとつが「大会」です。

一人ひとりの声が大坂支部の血となり肉となります。全港湾大阪支部の組合員として誇りをもって、また、「綱領」をかみしめ、万難を排し団結に向け、向こう1年間共にがんばりましょう。

## 大阪支部ホームページ開設中!

アドレスは <http://www.zenkowan-osk.org/>



大会来賓者(敬称略)

- 【組織内】
  - 藤崎良治 全港湾関西地方本部 書記長
  - 泊寛二 全港湾関西地方建設支部 委員長
- 【友誼組合】
  - 武洋一 連帯労組関西地区生コン支部 書記長
  - 酒井さとえ 大阪教育合同労組 書記長
  - 福田徹矢 大阪全労協議長
  - 広瀬英司 連帯労組近畿地区トラック支部委員長
  - 阪口充 近畿圧送労組 副委員長
  - 梶山義男 近畿圧送労組 書記長
  - 色見勝徳 関西クラフト支部 執行委員長
- 【政党・議員関係】
  - 辻元清美 衆議院議員
  - 服部良一 元衆議院議員
- 【友誼団体】
  - 中村吉政 南大阪平和人権連帯会議 事務局
  - 垣沼陽輔 おおさかユニオンネットワーク 代表
  - チェ・ソンイル 韓統連おおさか 事務局長



挨拶される辻元清美衆議院議員

大会メッセージ(敬称略)

- 【組織内】
  - 森田克義 全港湾関西地方神戸支部 委員長
  - 浦田国男 全港湾関西地方築港支部 委員長
- 【友誼組合(交運関係)】

- 小嶋敏弘 大阪港湾労働組合 委員長
- 小嶋敏弘 大阪港湾労働組合協議会 議長
- 本多裕重 建交労関西支部 委員長
- 松延博道 大阪交通運輸産業議長
- 広瀬英司 連帯労組近畿地区トラック支部委員長
- 北小路敏樹 生コン産労 委員長
- 山口喜代重 日本自動車運転士労働組合 大阪支部 委員長
- 山口善弘 運輸労連大阪府連合会 委員長
- 【政党・議員関係】
  - 辻元清美 衆議院議員
  - 酒井ひろゆき 豊中市議会議員
- 【友誼組合・団体】
  - 米田彰男 大阪平和人権センター
  - 酒井浩二 尼崎地区労働組合
  - 上山史代 武庫川ユニオン
  - 松波浩三 泉州地方労働組合連合会
  - 北村庄司 管理職ユニオン・関西
  - 井出啓一 なかまユニオン
  - 赤井隆史 部落解放同盟大阪府連合会
  - 藤中昌則 大阪兵庫生コン経営者会
  - 労働と人権のサポートセンター・大阪
  - 宮内洋 近畿労働金庫
  - 川崎正治 全労済大阪府本部
  - 社会福祉法人 海の子学園



# 第48回衆議院選挙をどう見るか!

## 支部顧問 山元一英

### 保守補完勢力の台頭が 与党勝利を生み出す

安倍内閣は9月28日召集の194回臨時国会で解散総選挙をした。朝日新聞は「野党の臨時国会開催要求に3か月間応じなかった上での冒頭解散で、国会議論の機会を奪った」などと批判した。

7月の東京都議選で小池・都民ファーストが圧勝し、その後新党「希望の党」が結成されたことにより、「自民」対「希望」の対決様相がクローズアップされ、野党第一党の民進党からの離党者が広がった。25日のマスコミ事前調査では、自民党は東京を中心に「50議席減少」「最大90議席減少」と言われ、安倍総理は「目標議席を与党で過半数」と表明した。

この状況に輪をかけたのが、9月27日の前原・民進党の小池・希望の党への合流表明である。前原氏は、「民進党は公認候補を擁立せず、希望の党に公認申請を依頼し、安倍打倒の一点で、事実上希望の党に合流する」との提案を行い、民進党両院議員総会は全会一致でこれを採択した。この時までは、自民・公明連立与党を過半数割れに追い込むことが出来るのかが争点のようであった。

しかしその後、希望の党・小池氏は「安保法制と憲法改正の容認」を踏み絵とし、それに合意できない人は「選別排除」するとの発言を行い、民進党全体との合流は否定された。

他方、10月2日、民進党代表代行の枝野氏は「政治家にとって理念や政策は何ものにも代えがたい、譲ってはならない筋である」と述べ、リベラル系議員の受け皿として「立憲民主党」の結党を宣言するに至った。



11・3 おおさか総がかり集会(剣先広場)

このような経過を経て総選挙は、自民・公明の保守勢力、希望・維新の保守補完勢力、立憲・共産・社民のリベラル勢力が争う選挙となった。

### 鮮明となった リベラル勢力の野党共闘

支部はこの間、政治的には憲法擁護、日米安保・米軍基地反対、人権重視、原発反対、経済的には市場原理・競争主義の新自由主義反対、消費税増税、貧富の格差拡大政策反対、社会的には市民参加型の地域行政、地域文化を支持し、総じてリベラル勢力の候補者を推薦・支持してきた。

今回も、2区・尾辻かな子(立憲)、9区・服部良一(社民)、10区辻元清美(立憲)を推薦し、選挙運動を闘った。

大阪では、もともと自公の与党候

補が強いうえに、維新と希望の間では、大阪と東京で選挙区の「住み分け」が行われ、リベラル勢力には厳しい選挙戦となった。民進党が実質解党となったことで、これまでの野党共闘(民進、共産、自由、社民)が崩れ、出来たばかりの立憲民主との野党共闘はかろうじて成立したものの、不十分なまま選挙戦への突入となった。

選挙結果は、自民党284(増減0)、立憲民主56(41増)、希望50(7減)、公明29(5減)、共産12(9減)、維新11(3減)、社民2(増減0)、無所属22(16減)となり、自公連立与党を過半数割れに追い込む事は出来なかった。しかし、リベラル勢力の立場を鮮明にした「立憲民主党」は、野党共闘の大衆的支持を受け、躍進した。国会でのリベラル勢力は依然として少数勢力だが、加計・森友問題、憲法「改正」、米朝関係、消費増税、非正規の正規化問題等、国民生活に重要な懸案事項が目白押しである。

### 野党と市民の共闘で、 政治を変えよう!

11月3日の憲法記念日に「9条改憲を許さない!安倍政治を終わらせよう!」大阪総がかり集会が開催され、2万人の労働者・市民が結集した。議会だけの力に依存することなく、さらに労働運動と市民運動の力を大きくさせ、「米軍とともに戦争する国造り」に反対し、憲法改正を阻止する「3000万署名」運動を成功させるために、今後も奮闘しよう!

## 2017年度 大阪支部 執行部体制

顧問	山元一英	小林信介(ナニワ生コン)	丸山賢司(太陽陸運)	田中法広(オエステイ)	横山貴安基(スミサク)	池尾隆雄(ガスケミカル)	和泉清(阪南港運)	吉本賢一(大正埠頭)	川村和美(城東組)	田村吉雄(大阪港埠頭)	松本康(みなと労供)	赤保勝(月星海運)	陣内恒治(三星海運)	吉馴真一(サンユ)	林繁行(此花荷役)	小林勝彦(大阪機船)	國分仁昭(杣木協機)	山田清二(神崎運輸)	樋口万浩(大正埠頭)	委員長
副委員長																				委員
書記長																				
書記次長																				
執行委員																				